



平成28年度 中央区地域活性化事業交付金 交付決定事業 【田名地区】

平成29年3月31日現在

団体名	事業等の名称	事業の概要			交付決定年月日	事業予算(単位:円)		
		事業の背景	事業の目的	事業の内容		全体額	申請額	交付金額
1 ミニさがみはら研究会	田名のこどものまち	子供や若者が活躍してまちづくりに参画することが少なく感じています、実際のまちづくりにおいては、若者や子供たちの意見を取り入れてくことが市民参加自治の実現には必要です。こどもや若者の社会参画事業の必要性があり、高齢者から次世代へまちづくりの継承が必要だと感じています。	まちを自身で積極的に変えていくことを体験することで、社会参画意識の向上を図ることを目的としています。また、参加するこどもたちや若者の活躍によって将来の田名地区のまちづくりへ積極的に参画する市民を育成することを目的とし、次世代まちづくりの継承も目的としています。	こども運営委員の公募 こども会議 ・こども運営委員と大人スタッフとともに、仮想のまち「田名こどものまち 田名っちょタウン」を作るために「こども会議」を2回開催し、具体的なまちに必要な施設を考えます。 こども市民の募集 ・こどものまちに参加するこども市民を募集。(イベント当日、こども市民がこのまちで社会体験を行います。) こどものまち ・こどものまちの仕組みは、「市民登録」して「ハローワーク」で仕事を探し「まちの施設」で一定時間働き、「銀行」で給料をもらい「税務署」で所得税を支払って残ったお金でまちを楽しむ。まちの代表者を選ぶ市長選挙も行う。	6月21日	155,000	150,000	150,000
2 田名地区防犯協会	青パトを活用した防犯活動の強化	犯罪が多様化する中、「自分たちのまちは自分たちで守る」という意識を高めるため、防犯キャンペーンなどの啓発活動を実施するとともに、平成18年より青パトによる防犯パトロールを開始しました。現在、158名の乗務員で原則、毎日輪番でパトロールを実施している。	・田名地区内の住民の防犯意識を高め、各種の犯罪を未然に防止する。 ・青パト乗務者などのボランティアの担い手を育成する。	・青色防犯灯装備車両(青パト)による田名地区内防犯パトロールの実施 ・自治会と連携した防犯パトロールの実施 ・学校、自治会などと連携した児童見守り活動の実施 ・警察との合同会議の実施 ・青パト乗務者資格講習会の開催(青パト実施者証保有者の拡大) ・重点監視板の設置、防犯キャンペーンによる啓発活動の実施	6月21日	400,000	400,000	400,000
3 田名地区自治会連合会	災害時安否確認 黄色い小旗事業	大規模災害時においては、「自分たちのまちは自分たちで守る」こととなるため、消防団や自治会(自主防災隊)社会福祉協議会など様々な地域団体が地域防災力向上のため活動・訓練を行っている。 そのような中、大規模災害時における各戸の安否確認を如何に迅速に行うかを課題となっている。	「黄色い小旗」を地区内世帯に配布、災害時に玄関前・ポスト・塀など見やすいところに掲示していただき、掲示(もしくは未掲示)により安否の確認を即応的に行う。 例: 安全...旗を掲示 要確認世帯又は救護を要する...未掲示	・昨年度は塩田自治会をモデルケースとして事業を行ったが、今年度は田名地区全自治会を対象とする。 ・各戸配布をする際は、使い方や取付場所などを記載した説明書も併せて配付する。 ・自治会加入世帯には自治会回覧、未加入者には訪問して配付するなど、加入促進活動にも利用する。 【想定される事業展開(訓練)の動き】 1 黄色い小旗を各戸配付 2 ひばり放送等で訓練開始(発災)の合図を行う 3 災害本部設置(自治会連合会) 4 単位自治会にて黄色い小旗の掲示(未掲示)を確認 5 旗の掲示状況等の報告を自治連管理の無線機にて行う(無線連絡訓練を兼ねる)	6月21日	1,280,000	1,280,000	1,280,000

	団体名	事業等の名称	事業の概要			交付決定 年月日	事業予算(単位:円)		
			事業の背景	事業の目的	事業の内容		全体額	申請額	交付金額
4	田名地区自治会連 合会広報企画委員 会	田名地区ウェブサイト 「たななび」の運営	田名地区においては魅力ある景観や史跡、イ ベントや自治会連合会をはじめとした地域団体 の活動について、情報発信ツールが少なく地域 内外への普及啓発に限界がある。	・地域のイベントや景観、史跡など田名の魅力を ウェブサイトを通じて発信する。 ・自治会をはじめとした地域団体の活動告知や 活動報告を掲載・発信していくことで、住民に地 域団体の必要性を認識してもらう。	・webサイトたななびの運用 ・泳げ鯉のぼり相模川、相模原納涼花火大会、 ふるさとまつりなどの地域事業やそれに関わる 地域団体の活動状況を動画撮影・編集し、動画 サイト(youtube)にアップする。	6月21日	230,296	230,000	230,000
5	田名自治会連合婦 人会	田名自治会連合婦人会 広報事業	先の大震災をうけ、地域のつながりや絆の必 要性が再認識されたところであるが、自治会加 入率は減少傾向にある。	地域の主たる事業やまちづくり会議、自治会定 例会などに参画している当会の活動の情報発信 を行うことで女性による自治会活動の推進や福 祉活動への参加協力についての周知を図り、以 て、人と人との繋がりがあがる明るく住みやすい地 域を目指す。	「事業の目的」を達成するために、活動内容を掲 載した広報誌を作成する。 ・発行:平成29年3月 ・作成部数:8,000部(自治会加入世帯全戸配 布 他)	6月21日	142,000	70,000	70,000
6	田名あいさつ運動を 進める会	田名地区あいさつ普及 啓発活動	社会情勢や家庭環境の変化などから、地域コ ミュニティが希薄化している。この課題を解決す るために、田名地区においては、あいさつの普 及啓発を地域で取り組むべき事業として捉え、 平成24年度に当会をまちづくり会議の専門部会 として設立されている。	心豊かで安全安心なまちづくりを実現するた めに、あいさつによる地域のコミュニケーション・連 帯意識を高めることを目的とする。	あいさつの普及促進を目的として次の事業を実 施するもの。 ・あいさつ情報誌の作成(地区内各戸世帯配布: 年2回) ・平成29年度新入学児童への啓発物品(折り 紙)(田名小・田名北小・新宿小・九沢小・夢の丘 小) ・あいさつキャンペーン(交通キャンペーンとタイ アップ。あいさつ普及啓発グッズを配布する。)	7月20日	352,000	350,000	350,000

団体名	事業等の名称	事業の概要			交付決定 年月日	事業予算(単位:円)		
		事業の背景	事業の目的	事業の内容		全体額	申請額	交付金額
7 田名地区社会福祉協議会広報部会	田名地区社協福祉活動啓発事業	少子高齢化に伴う孤立化や日常生活支援などの福祉課題を解決するために、住民同士の助け合いをより一層推進していくことが求められている。若者世代も含め、多くの地域住民が地域の福祉活動について、一定の役割をもって継続的に参加できるよう、地域住民が地域で果たすことのできる役割を理解する必要がある。	昨年度、公募・選定された地区社会福祉協議会のイメージキャラクター「たなワン」を活用し、より身近に地区社会福祉協議会の活動を感じてもらおうと、地域におけるボランティア活動や様々な福祉活動を広く周知し、活動への理解や参加協力意識を高めるとともに、地域全体の福祉活動者の継続的な確保に資する。	活動スローガン「みんなでつくる ほっとする田名のまち」をめざし、「のぼり旗」や「クリアファイル」に活動スローガンやイメージキャラクター「たなワン」などをプリントし、掲出・活用する。 1. のぼり旗の活用方法 「おしゃべりサロン」(10枚)・・・高齢者を対象とした「おしゃべりサロン」(8か所)の開催日に掲出し、介護予防や孤立化防止に向けた活動をPRし、開催の拡大を図る。 「みんなでつくるほっとする田名のまち」(3枚)・・・事業の開催日に掲示し、社会福祉協議会と地域福祉の役割などを周知する。 「田名ボランティアセンター」(2枚)・・・ボランティアセンター事務所の移転に合わせ、活動の受付日や地域内での活動中に掲示し、新事務所の定着を図るとともに地域福祉の取組みのPRを行い、あわせてボランティア活動者の募集及び支援対象者把握に活用する。 2. クリアファイルの活用方法 子どもから高齢者に日常的に使用してもらい、身近に福祉活動を感じてもらい、相互扶助の意識を高める。	7月20日	151,020	150,000	150,000
8 田名地区社会福祉協議会福祉ねっとわーく推進委員会	田名福祉ねっとわーく推進事業	住民の高齢化や核家族化といった社会現象が進行する中、地域による生活弱者への支えが必要となる。	『みんなでつくる ほっとする田名のまち』を合言葉とし、地域の方々が“あいさつや声かけ、ちょっと気にかける”ことによって、支援を必要としている方々をいち早く見つけ出し、助け合う関係の構築や深刻な事態の未然防止をすることを目的とする。	今後の事業に資するため、各自治会における「福祉ねっとわーく」の見守り活動推進状況についてアンケート調査を実施した結果から、主な活動事例(約20件)のうち特に有効な支援につながった事例(4件)について、どのように支援につながったかなど、わかりやすい解説を添えた4コマ漫画を作成し、福祉ねっとわーく協力員(約800人)や自治会に紹介する。 なお、紹介する事例については、わかりやすい表現とすること及び個人情報保護の観点から漫画表現とする。 活動成果をわかりやすく周知することにより、活動の意義を再認識してもらい更なる事業の充実を図る。 作画 58,000(4コマ漫画×4本 イラスト×2本) 印刷 50,000(A3 二つ折り 両面フルカラー 2000部) 対象 ねっとわーく協力員、民生児童委員、配布希望者等	8月16日	108,000	100,000	100,000
						2,818,316	2,730,000	2,730,000